

患者さんへ

疫学研究

「当センターで過去5年間に体幹外傷症例に対して Damage Control Surgery を行った 52 例の検討」についての説明文書

1. この疫学研究の目的

近年、重症体幹外傷に対する手術戦略として Damage Control Surgery（救命率を上げるために手術を複数回に分けて実施するダメージコントロール手術）の有効性が広く認められています。最重症の患者さんを収容する高度救命救急センターである当センターも積極的に Damage Control Surgery を行っています。本研究の目的は当センターにおける Damage Control Surgery の現状・治療成績などを明らかにすることです。

2. 疫学研究実施期間

倫理委員会承認後から 2022 年 12 月

3. 疫学研究に参加していただく対象患者さん

2017 年 4 月から 2022 年 3 月までに当センターに搬送され、体幹外傷に対して Damage Control Surgery を行った患者さん

4. 疫学研究の方法について

電子カルテを用いて調査します。

年齢、性別、患者背景（血圧などのバイタルサイン、重症度スコア、予測生存率など）術前 CT の有無、CT までの時間、執刀までの時間、損傷臓器、術式、合併症、転帰などを検討します。

5. 疫学研究への参加の自由と参加のとりやめについて

この疫学研究に参加するかしないかはあなたの自由意思によります。参加をお断りになられても、不利益を受けることはありません。たとえそれが疫学研究中であっても、あなたはいつでも参加をやめることができます。その場合は担当医師に申し出てください。また、代諾者の方もあなたと同様に同意を撤回したり、中止の申し入れをしたりすることができます。

なお、疫学研究の途中で同意を取り消された場合でも、現時点で考えられる最善の治療を行いますので、あなたにとって何ら不利益を受けることはありません。

6. あなたの人権・プライバシーの保護について

この研究では、個人を特定できるような氏名・診療カード番号・住所などの個人情報登録

しません。また、人間関係や会話内容なども一切使用しません。施設内の個人情報管理者が、厳重に元データを保管・管理しております。ご心配な点がありましたら、下記責任者までお問い合わせください。

7. この研究に関連する危険性、健康被害について

この疫学研究は、診療録に記載された患者さんの情報を登録するものですので、患者さんへの危険性や健康被害が起こる可能性は、一切ありません。

8. 費用の負担について

この疫学研究に参加することによる患者さんの費用負担は、一切ありません。

9.この疫学研究を担当する医師の氏名、連絡先

この疫学研究について分からないことやさらに詳しい説明が欲しい場合、気がかりなことがある場合は、いつでもご連絡ください。

疫学研究責任医師;

氏名; 松山 重成 (救急部長) 連絡先;078-241-3131